

久間がゆく

No.3

株式会社ファインテック

「他の追従を許さない高い技術力で
世界一の産業用刃物メーカー目指す」



【写真左上】工場も兼ねる本社社屋【写真左下】経済産業省中小企業庁に「がんばる中小企業・小規模事業者 300 社」
として選定【写真右上】できた刃物を磨く研磨機の調整を行う従業員【写真右下】工場内には多くの機械が並び

皆さん、こんにちは。企業支援相談員の久間です。今回紹介する企業は、平成23年にNECの工場跡に移転した株式会社ファインテックです。

この会社は、精密金型部品やセラミック加工も手掛けますが、主力製品は素材や部品を工場で作る際に使う産業用刃物の製造です。

私たちが日常生活で使っているいろいろな製品は、金属や樹脂、ゴム、フィルムなどの素材でできた部品が組み合わさってできています。その製造過程には、必ずと言って

【事業者情報】

- 本社所在地＝西浜武 575・1 ☎73・0877
- 資本金＝2000万円
- 代表者＝本木敏彦
- 従業員＝211人

いほど「切る」という工程があります。この会社では、企業が求める切断面を提供するため、持ち込まれた部品を切るのに最も切れ味の鋭い刃物を作っているのです。

30万回切っても切れ味がほとんど変わらない刃物や、米粒を何枚にもスライスできるほど薄くて品質の良い刃物を製造できる企業は、国内で聞いたことがありません。

「通常の刃物では、素材を切ると周りに粉が出たり切断面にひびが入ったりします。すると、これをきれいにする工程が必要になり、企業にとっては時間と費用がかかるわけです。しかし、企業が求める切断面になるように作り込むのが社の刃物を使えば、粉やひびが出ることなくきれいに切れる。そのことにとても驚かれ、多くの企業に喜ばれています」と本木敏彦社長は自社の刃物に自信を持っています。

この高い技術力は、茨城県

にある世界最先端の研究を行う大強度陽子加速器施設「J-PARC」の建設に貢献したとして、平成21年に感謝状を受けるほどです。

このような高度な刃先加工技術を生かし、医療機器の製造にも進出。本木社長は「世界一の産業用刃物メーカーになることを合言葉に、創業35年を迎える平成32年に売上高100億円、従業員1000人の達成を目指しています。最高の切断品質を提供する刃物メーカーとして、世界に感動を与えたい」と意気込みを語りました。

「久間のひとこと」

高い技術力を誇る会社の中で、たくさん若い女性が元気に働いているのが印象的でした。「女性が生涯を通じて働きやすい職場づくり」という本木社長の言葉に納得です。

【問】市商工振興課企業誘致・ベンチャー支援係 ☎77・8762